特集 高齢者の健康と福祉の祭典 ねんりんピック茨城2007
～宮城県から137人が参加、世代間・地域間交流～

“さわやかな　長寿の風を　茨城に”をテーマに、「第20回全国健康福祉祭いばらき大会（愛称：ねんりんピック茨城2007）」が、平成19年11月10日から4日間にわたり、茨城県内21市町を舞台として盛大に開催されました。全国から1万人を超える選手が集まり、宮城県からは元気ハツラツな137人が21種目に参加しました。世代や地域を超えて交流の輪を広げた大会の様子を紹介します。

我ら宮城県選手団！雨にも負けず…

宮城県選手団は137人。卓球、マラソン、剣道、水泳、ダンススポーツ、囲碁など21種目に参加。さすが各予選を勝ち抜いた代表とあり、皆さん凛とした表情で茨城県へ出発しました。

いざ試合では、日頃の練習の成果を発揮しようと競い合う勇ましさ。その一方、試合以外では、他都道府県選手の皆さんと積極的に交流を図ったり、茨城県の名所・名物巡りをしたりと、天候に恵まれない今大会でしたが、大イベントを存分に楽しんだようです。

かわいい応援団！ハッスルきっず隊

開会式はあいにくの雨。入場行進は中止となり、全員スタンドでの参加が告げられました。体も冷え言葉少なげにスタンドに入る選手達。しかしスタンドで「ガンバレ宮城県！」と手旗を振る子供達のお出迎えを目にした途端、選手の顔が一変したのは言うまでもありません。

彼らは“ハッスルきっず隊”、水戸市立国田小学校の皆さんです。今大会では「一県一校応援」と称し、参加県それぞれに茨城県内の小学校一校が応援団となってくれる企画があり、大きな横断幕やメッセージ入りしおり等を作って、開会式にかけつけてくれたのです。

応援するにあたり、宮城のことを調べてくれたようで、「宮城と言えば？」との問いかけに、「牛タン」「ずんだ餅」「伊達政宗」と顔いっぱいに口を広げる子供達。「めんこいこだぁ。雨の中ありがとねぇ」「こりゃ恥ずかしい成績では帰れないぞ」と元気をもらいました。

遠くからは「応援メッセージ」で元気づけ

声援を送りたいけど遠くて行けない…。総合開会式会場では、ファックスやメールで寄せられた、家族や仲間からのメッセージを閲覧できるコーナーが設置され、口元をほころばせて見せ合う選手でにぎわっていました。

宮城県チームをちょっと紹介（ゲートボール）

ゲートボールは、今大会でも選手数1000人強、最高年齢選手93歳、最高年齢チームは平均年齢90・6歳と、親しみやすい人気スポーツですが、その分強豪が顔を並べます。テクニックもさることながら、かけひきと精神面の強さが求められます。宮城県からは2チームが出場しました。

“増田クラブ（名取市）”は初出場。「緊張するぅ」とおなかに手を当てふう～っと深呼吸。しかしスティックを握り、定めたねらいを見据える姿は実に堂々たるもの。雨足も速まり手がかじかむ中、「天候が悪い時ほど勝ち目が出るチャンス」と、チーム一丸となって一試合一試合を丁寧に挑む姿が印象的でした。

一方、順当に県代表の座を勝ち取った“気仙沼カモメ（気仙沼市）”は、選手5人のうち夫婦2組と、気心も知り抜いたチームです。試合開始直前に相手チームとも冗談を交わす程の明るさには、場数を踏んだ貫禄が感じられます。その試合の流れをつかむ落ち着きぶりが際立っていました。

地元ボランティアさんのおもてなし

各競技会場では、地元ボランティアさんがテントを広げ、郷土料理などのサービスで選手や応援者を歓迎してくれました。雨と風で震える中、手作りの豚汁を喉に通すとおなかの中がジンワリ。「好きなだけ食べて温まっていきなね～」の笑顔に感謝です！

伝統をつなぐ「地域文化伝承館」

地元老人クラブの団体も、ステージやブースで日頃の活動を紹介し、ねんりんピックを盛り上げました。一枚の和紙で125羽もつなげた“つなぎ折り鶴”や、ナイフ1本で器用に作り上げた竹細工など、どの技も絶やすことなくつなげたいものばかり。

会場では、竹とんぼの遊び方を子どもに身振り手振りで説明するおじいさんや、小物作りの体験コーナーで若い女性に針の持ち方を教えるおばあさんなど、あちらこちらで世代間交流が見られました。

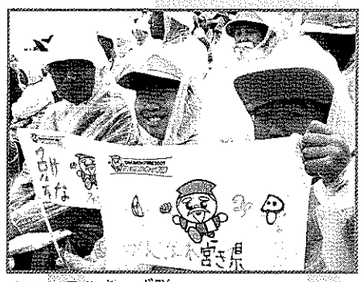
ねんりんピックには、高齢者や関係者だけではなく、たくさんの地元の方々やボランティアに支えられ、多くの人々とのふれあいにより世代を超えた交流が芽生える素晴らしさがあります。平成24年度の宮城県・仙台市で開催する第25回大会も楽しみです。

“宮城県選手の試合結果の一部を紹介・・

★将　棋…岡崎　昇さん（ブロック優勝）
★なぎなた…鈴木照子さん（個人　ブロック準優勝）
★水　泳…阿部磯雄さん（背泳ぎ75歳以上の部　3位）
★囲　碁…畑井京子さん（ブロック3位）

その他の皆さんも大きなケガもなく大健闘しました！

（宮城県社会福祉協議会作成）

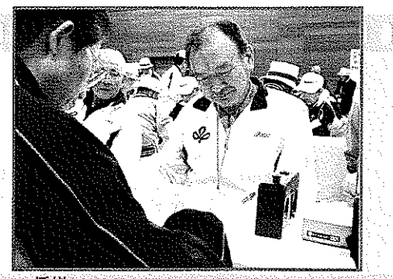

▲ハッスルきっず隊

▲応援メッセージ

▲太極拳

▲サッカー

▲ソフトバレーボール


▲将棋

▲地元ボランティアさんのおもてなし

▲地域文化伝承館

※ねんりんピック
60歳以上の高齢者を中心とする、スポーツ・文化・芸術活動や健康・福祉にわたる幅広いイベントを通じて、あらゆる世代の人達が交流する、総合的な祭典「全国健康福祉祭」の愛称。昭和63年の兵庫県での第1回大会の開催以後、毎年都道府県持ち回りで開催地の特色を生かして行われている。